



# 酒井重工業と SDGsの関わりについて

企業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献し、SDGsの目標を達成していく。

これにより、酒井重工業が社会に必要とされる企業であり続けることができます。創業100年を経て、今後の更なる50年、100年に向けて企業価値を高め、持続可能な社会づくりに貢献していくことこそが企業ブランド向上につながる道ではないでしょうか。そこで、当社の企業活動とSDGs目標との関連を確認してみましょう。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**9 産業と技術革新の基盤をつくろう**

**SDGs 目標 9**  
産業と技術革新の基盤をつくろう

当社の技術力はSDGs目標「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」につながるとともに、廃ガス対策や低騒音機械の生産・販売は「13. 気候変動に具体的な対策を」や「11. 住み続けられるまちづくりを」につながります。

また、働き方改革を進めつつ企業活動を発展させることで、「8. 働きがいも経済成長も」を行うとともに「12. つくる責任つかう責任」を果たして行く事が大切です。

**11 住み続けられるまちづくりを**

**SDGs 目標 11**  
住み続けられるまちづくりを

当社の本業である道路建設機械による道路インフラ整備事業は、SDGs目標「11. 住み続けられるまちづくりを」に通じるものです。この道路インフラ整備を開発途上の国に展開することで、それらの国の経済発展に寄与、「1. 貧困をなくそう」や「10. 人や国の不平等をなくそう」などに貢献することができます。



SDGs特集ページはこちらから

このような当社とSDGs目標との関わりの中で、現在進めているロードスタビライザー技術の海外展開について説明します。

当社では、本技術を開発途上国に向けて特に政府開発援助（ODA）を通じて技術移転することを行っています。これら途上国ではSDGs目標について低い達成度であり、目標のうち番号の小さな、貧困、飢餓、健康、教育などについて未だ十分な状態がありません。スタビライザー工法は、より耐久性に優れた道路を、現地の材料を利用して経済的に作りあげ、限られた予算の中でより多くの道路整備を可能にします。これにより物流を改善し、農産物などをより広い範囲に届けられるようになります。



これは、先に挙げた17の目標のうち、開発途上国における喫緊の課題である「1. 貧困をなくそう」「2. 飢餓をゼロに」の解決に貢献ができ、更に医療機関や学校へのアクセスが良くなることにより「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」という目標達成につながります。今後、技術が普及し道路インフラ整備が進み道路ネットワークが構築されると、経済成長につながり「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「10. 人や国の不平等をなくそう」「11. 住み続けられるまちづくりを」の目標達成に貢献することができます。



当社では単に機械を提供するだけではなく、対象国の技術者が自らの手で施工するという技術移転を行っており、現地の方の反応を直接感じることができます。例えば、すでに導入した成功事例である中央アメリカのニカラグアでは「雨が降ると行けなかったところに行けるようになった」「公共交通機関（バス）が便利に使えるようになった」道路が良くなり「事故が減った」「燃費が良くなった」などの感謝の声が寄せられています。

当社の企業活動は、様々な形でSDGsに結びついており、国内外の道造りを通して世界をより良い場所にすることができます。それは私たち社員の皆が誇れるものであり、企業イメージ、ブランディングへとポジティブに繋がっていきます。



編集部  
より

あの緊急ブレーキ装置GuardmanがTW354・504/  
SW354・504にも搭載されます！  
YouTubeの酒井重工業チャンネルで緊急ブレーキを  
検索してください。



専用動画へ  
アクセスできます。

本誌に関するご意見は最寄りのブランディング検討委員会まで  
お寄せください。

発行:ブランディング検討委員会

**SAKAI**  
MASTERS OF COMPACTION